

第5回〈まち探検隊〉

- ・ 日時 01年11月06日 14時から
- ・ 参加者 角野、加藤、酒井、中尾、松下
- ・ 主な目的 古くからの農村集落と新興住宅地が混在している中を流れる小川と、住んでいる人達との関わりがどうあるべきかを探る。

- ・ 参考資料

- 5 - 0 野鳥のメッセージ

- 5 - 1 - 1 コース図

- 5 - 1 - 2 位置図

- 5 - 1 - 3 都市計画図

- 5 - 2 - 1 流域の野鳥 1

- 5 - 2 - 2 流域の野鳥 2

- 5 - 3 現況写真

- 5 - 4 - 1 会議の記録 11・27

- 5 - 4 - 2 会議の記録 11・27

- 5 - 4 - 3 会議の記録 11・27

- 5 - 4 - 4 会議の記録 11・27

- 5 - 5 - 1 会議の記録 12・14

- 5 - 5 - 2 会議の記録 12・14

- 5 - 5 - 3 会議の記録 12・14

- 5 - 6 これまでの経過

- 5 - 7 - 1 会議の記録 01・15

- 5 - 7 - 2 会議の記録 01・15

- 5 - 8 - 1 独り言 1

- 5 - 8 - 2 独り言 2

- 5 - 8 - 3 独り言 3

- 5 - 8 - 4 独り言 4

- 5 - 9 参考論文目録

- 別添資料 「CVV K・プロジェクトのレポート 2002/03」

- ・ プロローグ

このお話は平成13年7月4日に始まります。この日、杉本町の大阪市大キャンパスに角野氏、隅野氏、酒井氏、中尾氏、松下氏の面々が集まり、今まで実施した4回の〈まち探検隊〉の総括とか、今後の方針などを話し合いました。突然、松下氏から「勝尾寺川のカワセミを見に行きませんか」との提案があり、その延長線上に「人と川との関わり」というテーマが浮かび上がってきました。

それから11月6日の探検実施日までに20本以上のメールが飛び交い、皆様の熱い思いがグーッと盛り上がりました。

・当日の議論

探検当日はあいにくの空模様でしたが、前述のかたがたが熱心に現地を見て回る中、カワセミ君も歓迎のフライトを一瞬見せてくれました。流れている水はまさに清流そのものであるにも拘らず、悲しいかな、住民が投げ捨てた生活廃棄物や農作業に使った資材などの残骸等など。にも拘らず、ここには野鳥のみならずホタルなどの昆虫類も沢山生息している事などを考えれば、我々が「人と川との関わり」を考えてゆく絶好のフィールドであるとの結論に達しました。

参考資料5 - 0 , 5 - 1 , 5 - 2 , 5 - 3 参照

・展開

それから、<新しい「ゼイタク」を創るまちづくり>というネーミングで11月27日、12月14日、平成14年1月15日の3回にわたり、勉強、研究を重ねました。

参考資料5 - 4 , 5 - 5 , 5 - 6 , 5 - 7 , 5 - 8 , 5 - 9 参照

・成果

これらを踏まえて、酒井氏が悪戦苦闘の末、平成14年3月に別添のような「CVV K・プロジェクトのレポート 2002/03」が出来上がりました。